

代数学 I 第 6 回レポート課題解答例

担当：大矢 浩徳 (OYA Hironori)*

問題 1

3 次対称群

$$\mathfrak{S}_3 = \left\{ \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 1 & 2 & 3 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 2 & 1 & 3 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 1 & 3 & 2 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 2 & 3 & 1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 3 & 1 & 2 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 3 & 2 & 1 \end{pmatrix} \right\}$$

の各元の位数を求めよ.

問題 1 解答例.

$$\begin{array}{lll} \text{ord} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 1 & 2 & 3 \end{pmatrix} = 1 & \text{ord} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 2 & 1 & 3 \end{pmatrix} = 2 & \text{ord} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 1 & 3 & 2 \end{pmatrix} = 2 \\ \text{ord} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 2 & 3 & 1 \end{pmatrix} = 3 & \text{ord} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 3 & 1 & 2 \end{pmatrix} = 3 & \text{ord} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 3 & 2 & 1 \end{pmatrix} = 2. \end{array}$$

□

問題 1 補足解説. 群 G において, $g \in G$ の位数 $\text{ord}(g) := |\langle g \rangle|$ は $\text{ord}(g) < \infty$ のとき,

『 $g^m = e$ となる最小の正の整数 m 』

であった. (G が有限群の場合, 必ず $\text{ord}(g) < \infty$ であることに注意.) よって元 g の位数を求めるためには g を何度もかけて, 初めて単位元に戻るときを調べればよい. 例えば, $\begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 2 & 3 & 1 \end{pmatrix} \in \mathfrak{S}_3$ の場合,

$$\begin{aligned} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 2 & 3 & 1 \end{pmatrix} &\neq \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 1 & 2 & 3 \end{pmatrix} \quad (\leftarrow \text{単位元}) \\ \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 2 & 3 & 1 \end{pmatrix}^2 &= \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 2 & 3 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 2 & 3 & 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 3 & 1 & 2 \end{pmatrix} \neq \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 1 & 2 & 3 \end{pmatrix} \\ \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 2 & 3 & 1 \end{pmatrix}^3 &= \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 2 & 3 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 2 & 3 & 1 \end{pmatrix}^2 = \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 2 & 3 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 3 & 1 & 2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 1 & 2 & 3 \end{pmatrix} \end{aligned}$$

となるので, $\text{ord} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 2 & 3 & 1 \end{pmatrix} = 3$ である.

□

問題 2

G を巡回群でない位数 14 の群とする. 元 $g \in G$ が $g^2 \neq e$ (e は G の単位元) を満たすとき, g の位数を求めよ.

問題 2 解答例. Lagrange の定理の系より, $\text{ord}(g)$ は $|G| = 14$ の約数である. よって, $\text{ord}(g)$ は 1, 2, 7, 14 のいずれかである. ここで, $\text{ord}(g) = 1$ または 2 とすると, $g^2 = e$ となるので仮定に反する. また, $\text{ord}(g) = 14$ とすると, 位数の定義より $|\langle g \rangle| = 14$ となるが, $|G| = 14$ より, このとき $G = \langle g \rangle$ となる. これは, G が巡回群でないという仮定に反する.

以上より, $\text{ord}(g) = 7$ である.

□

* e-mail: hoya@shibaura-it.ac.jp

問題 2 補足解説. Lagrange の定理の系より, $\text{ord}(g)$ が $|G| = 14$ の約数であることが言えるが, この $\text{ord}(g)$ の候補は $1, 2, 7, 14$ であり, 特に 1 と 14 も候補であることに注意する. 一般の群 G の元 g に対し,

(i) $\text{ord}(g) = 1$ ならば, g は単位元 e ,

(ii) $\text{ord}(g) = |G| (< \infty)$ ならば, $G = \langle g \rangle$, つまり, G は g を生成元とする巡回群,

であることが言える. なお, 問題 2 の群 G の具体例としては 7 次 2 面体群 D_7 が挙げられ, この場合 g の例としては σ^k ($1 \leq k \leq 6$) が挙げられる. さらに, 実は巡回群でない位数 14 の群は D_7 と同型なものしか存在しないことが知られている. □